

あしたもともだち

利尻島教育研究会 複式教育研究部会

令和3年度 (市町村) 複式教育研究部会の活動

1. 研究主題・活動方針・体制等

<研究主題>

自ら分かって取り組む子へ、主体的・対話的で深い学びの実現を通して
～複式小規模の特性を活かした学習指導の充実～

<活動の方針>

(1) 複式教育の研究・研修活動を積極的に推進する。

①授業研究を通してわかる授業づくりを目指す。

②子どもの変容をとらえ学力の向上を図る。

(2) 他校との児童交流活動を積極的に推進する。

①大人数の活動を経験する中で表現力やコミュニケーション能力の向上をめざす。

(3) 宗谷複式教育研究連盟・他教育機関・団体との関係を強化する。

①教育局や教育委員会、利尻富士町教育研究会との連携を深める。

②確実な研究推進と実りの多い成果を目指して他町村とのつながりを広める。

③小規模・へき地校の近隣校仙法志小学校とのつながりを広める。

2. 令和3年度当初の活動計画

(1) 授業研究

年に1～2回、授業研究を行う。

(2) 実践講座

(3) 管内教育研究大会への参加

(4) 利尻島複式部会との連携

(5) 利尻富士町内の小学校との交流

3. 実施した活動・様子等(経緯含め)

(1) 授業研究

3次研まで実施し、小中合同での授業研究を積み上げることができた。

(2) 実践講座～未定

体力テストの結果を受けて、中学校体育科教諭をゲストティーチャーに迎え、体育科の授業を実施した。

「上体起こし」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」にかかわって、課題がわかった。

それらを改善できるよう、筋力向上運動を各学級で取り組んだ。

その後、2、3月には取り組んだ成果を検証し、来年度にむけて方策を練る予定である。

※感染症拡大のため、今年度は中止したもの・実施できなかったもの

(3) 管内教育研究大会への参加

(4) 利尻島研究会複式部会との連携

(5) 利尻富士町の小学校との交流

4. 成果・課題・次年度の計画等

(1) 成果

学校研究に関わって、教材研究や授業づくりについて研修を深めることができた。令和4年度からの本研究を始めるため今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて試行錯誤しながら、成果と課題の実践的検証を行った。来年度はそれらを基に新しい学校研究を推進していく。

(2) 課題

今年度より利尻島二町の町研が合体し、新たに利尻島教育研究会として始動した。それに伴い複式教育部会として仙法志小との連携をしながら、実践交流を行う計画を立てたがコロナ感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が発出されたため、研究交流については、各校の研究を紹介し合うに留まり、二校の実践の交流を深めるには至らなかった。